

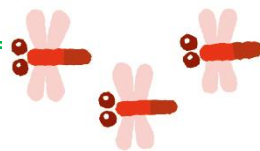
むくのきだより

9月号

令和元年9月1日

港区立赤羽幼稚園長

宮崎 直人



認め合う力を育てる～意欲的に体を動かす姿を通して～

園長 宮崎 直人

7月下旬頃から厳しい暑さが続き、8月に入ってから「猛暑日」が何日もあった夏休みでしたが、皆様いかがお過ごしだったでしょうか。9月に入っても残暑が続いていますが、幼稚園には、子供たちのにぎやかな声が戻ってきました。どの子も夏休みの楽しかった思い出をたくさん話してくれることを楽しみにしています。

少し前になりますが、7月3日（水）に、縁日ごっこを行いました。さくら組の子供たちは、「いらっしゃいませ！」と、大きな声でお客さんにアピールしていました・ゆり組の子供たちは、自分たちで工夫し、考えたゲームをお客さんに分かりやすく説明してくれました。赤羽小学校の1年生や飯倉保育園の子供たちが来てくれたことで、お客さんに喜んでもらう楽しさを味わうことができたのではないかと思います。保護者の皆様が担当してくださったお店も大好評でした。ご協力をありがとうございました。

7月23日（火）に、夕涼みお楽しみ会（ゆり組）を行いました。子供たちは、この日をとても楽しみにしていました。子供たちは、様々な活動をととても楽しむことができたようです。保護者の皆様と一緒に作ったカレー、仁平先生による「夕涼みコンサート」、赤羽小学校探検など、皆で大いに楽しみました。赤羽小学校の先生方、保護者の皆様、ご協力をありがとうございました。

さて、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会まで、あと1年になりました。各地で1年前イベントが開かれたり、競技ごとに世界選手権等が行われたりしています。日本人選手の活躍する姿を見るたびにワクワクする気持ちになります。今月からは、ラグビーのワールドカップも日本で開かれます。赤羽幼稚園でも、9月11日に、東京都教育委員会の「夢・未来プロジェクト」の一環として、北京オリンピック等で日本代表として活躍された、堀籠 佳宏（ほりごめ よしひろ）さんに来ていただき、子供たちに、走る楽しさを教えてくれます。とても楽しみです。

また、本園では、保育の質を高めるために、「認め合う力を育てる～意欲的に体を動かす姿を通して～」というテーマで、園内研究を行っています。互いのよさや力を認め合える幼児の育成を目指し、運動遊びの視点から教師の援助の在り方について考えています。子供たちが十分に自己を発揮し、友達との関わりを楽しみ、皆と一緒に体を動かす活動の充実感を味わいながら、健康で安全な生活を作り出していけるようにしたいと考え、実践を積み重ねています。赤羽小学校では、平成30年度・令和元年度 港区教育委員会研究奨励校として、「児童一人一人が楽しいと感じる体育」を研究テーマに、体育科を通して研究を進めています。研究面でも、発達の連続性を捉えた幼稚園・小中学校の一貫した指導を行うことにより、小学校以降の生活や学習の基盤となる生きる力の基礎を身に付ける教育を進めています。

保護者の皆様、地域の皆様には、2学期も、ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

